

事業再評価シート

事業名	社会資本整備総合交付金		
箇所名	主要地方道東郷西都線（松尾工区）	市町村名	木城町

（上段（ ）書きは当初計画）

実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 県単			
事業期間	採択年度	再評価年度	完了予定年度	
	平成24年度	令和3年度	(平成31年度) 令和8年度	
事業進捗	全体事業費 (百万円)	既投資額 (百万円)	進捗率 (%)	
	(2,320) 4,740	1,410	事業費 (-) 29.4	用地 (-) 40.8
再評価の概要	対象選定理由		事業効果(B/C)	対応方針原案
	事業採択後10年経過		(1.21) 1.10	継続

全体計画
<p>主要地方道東郷西都線は、日向市東郷町から木城町を經由して西都市に至る延長約40kmの路線であり、地域の生活や産業および観光を支援するほか、緊急輸送道路としても重要な路線である。当路線の未改良区間、約5.8kmは道路幅員が狭く線形不良箇所が連続しており、また、災害による通行止めも多数発生している。</p> <p>そのため、未改良区間のうち、最も道路幅員が狭く、かつ、線形不良箇所が連続している1.9km区間の整備を図るものである。</p>

事業概要
<p>全体延長 L=1,900m          道路幅員 W=5.5(7.0)m          主要構造物          (仮称)こぶところ大橋 L=125.0m          (仮称)松尾トンネル L=831.0m</p>

事業目的
<p>当該工区は、日向市東郷町から木城町中心部までのほぼ中間地点に位置し、地域の住民にとって生活に必要不可欠な道路となっているが、全線を通して道路幅員が狭く、災害による全面通行止め等の通行規制も発生し、日常の生活に支障が生じている。</p> <p>そのため、隘路区間を解消し、通行車両の安全性の確保や救急医療施設への搬送などを支援する緊急輸送道路の整備を行うものである。</p>

### 事業の進捗状況

- 現在の事業進捗、整備効果の発現状況
  - ・事業進捗率は令和3年度末で29.4%（事業費ベース）となる見込みである。
  - ・用地取得進捗率は令和3年度末で40.8%（面積ベース）となる見込みである。
  - ・松尾工区において400mを部分供用している。
  - ・今年度は、未調査箇所の路線測量、地質調査を実施し、事業の進捗を図る。
- 今後の事業進捗の見込み
  - ・令和4年度に、（仮称）こぶところ橋に着手する予定。
- 事業が長期化している理由
  - ・現道の幅員が狭く、大型車両や機械の搬入が困難であること、また、時間規制による工事となり、当初想定より事業進捗に大幅な遅れを生じている。

### 社会情勢等の変化

- 事業を取り巻く社会情勢等の変化
  - ・令和2年度、南海トラフ巨大地震等に対応した災害対応拠点施設として、西都市役所の新庁舎が完成した。
  - ・同年度、県道東郷西都線の尾鈴橋の補修工事が完了し、緊急輸送道路としての安全性が向上し、安全・安心な通行が確保された。
- 災害等の発生状況
  - ・令和元年8月の台風8号に伴う、崩土による通行止が発生。
- 環境保全に対する取り組み
  - ・他工事で発生した建設発生土の有効活用、また、盛土法面の緑化を行う。

### 事業効果の分析

- 費用対効果
  - B/C = 1.1
- 事業を継続することの事業効果分析
  - 東九州自動車道へのアクセス機能が向上し、生活の利便性の向上、産業活動の活性化が促進され、地域経済の発展も期待される。

### コスト縮減

- コスト縮減の取り組み
  - これまで、他事業にて発生する建設発生土を盛土材として再利用するなどしてコスト縮減を図ってきた。今後も、引き続き他事業との連携を図りながら、さらなるコスト縮減に努めていく。

### 代替案の可能性

- ・現計画は日向市から西都市までを結び、防災面や観光面に等にも寄与するルートであり、交通ネットワークを形成する上で最適なルートとなっている。
  - ・全体の用地取得率も約4割を超え、約400mを部分供用しており、当該区間は、東郷西都線の未改良区間5.8kmのなかでも特に線形不良で、幅員の狭い区間であるので当該区間の完成により安全・安心な交通の確保を図ることができる。
- 以上、2点から代替案の可能性はない。

### 対応方針

継続